

# 事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0145/150715/01/02	事業の種類	4
年度	19	事務事業名	生きがい交流センター管理運営事業	作成日	平成21年1月20日
重要度	4	予算事業名	高齢者生きがい対策事業	担当部課名	健康福祉課
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり				
施策名	高齢者福祉	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	相生市生きがい交流センターの設置及び管理に関する条例 相生市高齢者生きがいと健康づくり推進事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者等			
	誰(何)を対象として	生きがいと健康づくり			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の文化的活動のための場の提供と高齢者の教養と健康づくりの為のセミナーの開催。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の文化的活動の場の提供</li> <li>各種セミナーの開催</li> </ul>				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	一般利用者数	人	19,287	18,894	19,427	20,500
	生きがいセミナー出席者数	人	3,688	3,872	4,149	4,500

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.090	0.090	100.0	0.080	88.9	0.080	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,757,448	1,487,454	84.6	1,435,665	96.5	1,386,532	96.6	
	事業費	8,307,686	8,236,250	99.1	8,008,250	97.2	7,918,000	98.9	
	合計	10,065,134	9,723,704	96.6	9,443,915	97.1	9,304,532	98.5	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,418,000		-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,647,134	9,723,704	112.5	9,443,915	97.1	9,304,532	98.5	
合計	10,065,134	9,723,704	96.6	9,443,915	97.1	9,304,532	98.5		

## 4 評価指標

### 【有効性】

指標名1	一般利用者数								
指標説明(式)	一般利用者数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-		-	20,500	#####	
	実績	19,287	18,894	98.0	19,427	102.8			
指標名2	生きがいセミナー出席者数								
指標説明(式)	生きがいセミナー出席者数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-		-	4,500	#####	
	実績	3,688	3,872	105.0	4,149	107.2			

### 【効率性】

指標名1	利用者一人あたりのコスト								
指標説明(式)	事業費÷利用人数(一般利用者+生きがいセミナー出席者)								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	362	362	100.0	340	93.9	317	93.2	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

### 5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	老人福祉センターの機能を移管した施設であり、市民の教養の向上と健康の増進の機能を果たしている。	4	4
	市民ニーズ	利用人数は増加傾向にあり、また、多種多様なセミナーの講座があり市民のニーズは高い。		
有効性	成果目標(改善)達成度	利用人数は増加傾向にある。	4	4
	市民サービス	多様な講座により、利用者にあつた講座の受講が可能であり、教養の向上と健康の増進、また閉じこもりの防止にも貢献している。		
効率性	コストの節減	必要最低限度での管理運営に努めている。	4	4
	手段の最適性	指定管理者制度により18年度より社会福祉協議会に委託している。		

### 6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

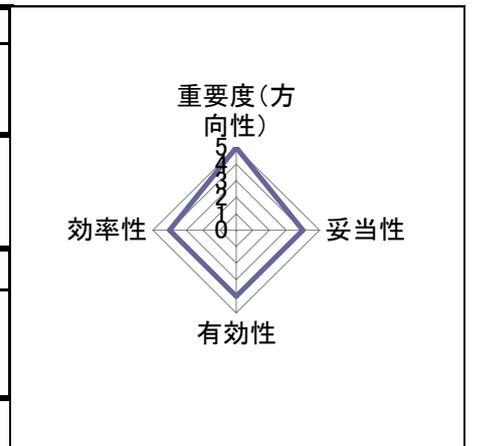
### 7 事業の改革改善 Action

#### (1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	市内公民館と足並みを揃えた利用料金の設定と市民ニーズの高い新たな講座の開設を検討する。
H19→H20予算反映額		

#### (2) 20年度の実施方針

新たな教室の開講を検討し、更なる利用者の増加と市内公民館と足並みを揃えた利用料金の設定。
--



検討の有無	—
総合指標	22